

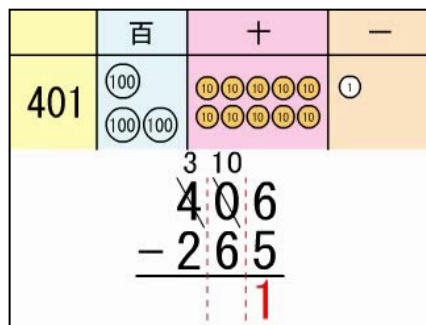
第3学年 算数科学習指導案

和歌山県新宮市立王子小学校 馬場敦義

単元名 3けたの計算（全体時間7時間）

コンテンツ名 「ひくといくつ」（S06.mpeg）

第3学年 実施時期 2学期11月



単元目標

- 【関心・意欲・態度】 ・筆算による3位数の加減計算の良さに気付き、その方法を考えようとする。
- 【数学的な考え方】 ・筆算による3位数の加減計算を2位数の加減計算をもとに考えることができる。
- 【表現・処理】 ・筆算による3位数の加減計算ができる。
- 【知識・理解】 ・筆算による3位数の加減計算のしかたを理解する。

本時の目標と展開（本時はその6時間目）

- 2位数の加法の筆算の原理をもとに、3位数の加法の筆算を考えることができる。
- 一の位と十の位がくり上がる場合の計算原理や方法を理解し、筆算で計算することができる。
- 3位数までの加法で、くり上がって和が4位数になる場合の筆算方法を理解し、計算することができる。
- 3位数の加法や2位数の減法の筆算の原理をもとに、3位数の加法の筆算を考えることができる。
- 2位数の加法の筆算の原理をもとに、3位数の減法の筆算を考えることができる。
- 3位数までの減法で、十の位と百の位がくり下がる場合の計算原理や方法を理解し、筆算で計算することができる。（本時）
- 3位数までの減法で百の位から波及的にくり下がる場合の計算原理や方法を理解し、筆算で計算することができる。

学 習 活 動

(1) 問題を知り、式をたてる。

問題文：たけしくんは406円を持って、スーパーマーケットに行きました。ジュースとおかしを買い、265円はらいました。今、たけしくんはいくらもっていますか。

- T 「たけしくんは、はじめいくらもっていましたか。」
- S 「406円です。」
- T 「スーパーマーケットでいくらはらいましたか。」
- S 「265円です。」
- T 「何をもとめるのですか。」

S 「今、たけしくんがいくらもっているかです。」

T 「ノートに式を書きましょう。」

- ・ 黒板に問題文を板書し、問題を考えさせる。
- ・ 今までに習ってわかっていること、課題の中でもとめることを確認させ、確実に問題を把握できるようにする。
- ・ 式をたてさせる。

(2) $402 - 265$ の筆算のしかたを考える。

T 「どうやって計算しますか。」

S 「たし算のときと同じように筆算でします。」

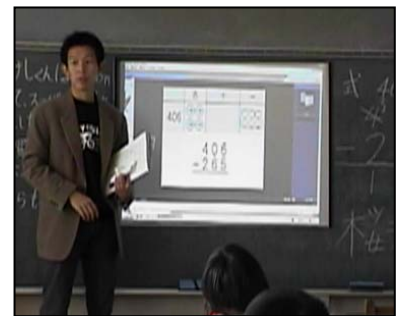
T 「筆算をするときに気をつけることは何でしたか。」

S 「位をそろえて書きます。」

S 「一の位から計算します。」

S 「繰り下がりがあります。」

T 「それらに気をつけて、計算しましょう。」



- ・ これまでの学習を振り返り、筆算のしかたや間違えないように気をつけることを確認させる。

<確認すること>

①位をそろえて書く。

②一の位から計算する。

③百の位から繰り下げる際に後の数字を書き、十の位にも借りた10を書く。

(3) $406 - 265$ の筆算のしかたを発表する。

T 「黒板に書きに来てもらいます。」

S 「 $6 - 5$ は、1。0から6はひけないので、百の位の4を3にして10もらう。 $10 - 6$ は4。
 $3 - 2$ は、1。答え、141です。」

(4) 筆算の仕方についてデジタルコンテンツで確認する。

T 「筆算の仕方を画面で確かめます。」

T 「 406 と 265 をお金でかいています。」 (6秒)

T 「まず、どの位から計算しますか。」 (12秒)

T 「次はどうしますか。」 (22秒)

S 「十の位から6ひけないので、百の位の4を3にして10もらう。」

- 大型画面でコンテンツを見せ、数の移動と筆算の仕方をとらえさせる。
- 有効に提示するために、場面ごとに時間を停止する。
- 百円玉1こが十円玉10に換わるアニメーションで繰り下がりのイメージをとらえさせる。
- 位をそろえて書かせる。

コンテンツについて

大日本図書 算数数学の思考過程をイメージ化する動画素材集より

3けたのひき算 http://www.dainippon-tosho.co.jp/mext/nhk/es_01/s06.mpg